



2019年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 CDS株式会社

上場取引所 東名

コード番号 2169 URL <http://www.cds-japan.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝崎 晶紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・財務部長 (氏名) 中嶋 國雄

TEL 052-587-5437

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

2019年9月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	5,695	32.4	740	30.1	734	31.0	468	24.7
2018年12月期第2四半期	4,300	2.5	568	1.4	560	3.0	375	3.5

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 469百万円 (26.4%) 2018年12月期第2四半期 371百万円 (4.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	68.63	
2018年12月期第2四半期	55.04	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第2四半期	8,231	5,922	71.9	868.39
2018年12月期	7,861	5,603	71.3	821.62

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 5,922百万円 2018年12月期 5,603百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		22.00		22.00	44.00
2019年12月期		24.00			
2019年12月期(予想)				24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,501	3.8	1,360	4.8	1,345	4.4	867	1.6	127.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	6,924,400 株	2018年12月期	6,924,400 株
期末自己株式数	2019年12月期2Q	104,127 株	2018年12月期	104,127 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	6,820,273 株	2018年12月期2Q	6,820,319 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アメリカと中国との貿易摩擦問題、中国や欧州経済の成長率鈍化及びイギリスのEU離脱問題などによって世界的に景気が下振れしており、先行きへの懸念が膨らんでおります。

当社グループは、ドキュメンテーション事業、エンジニアリング事業、技術システム事業の3つの事業を展開し、自動車から各種情報家電、産業機器、FA機器、医療機器、教育関連、物流、食品、水産物、農業など幅広い業界へのサービスを提供しており、グループ各社の多様な特長を組み合わせることで相互に補完し、顧客企業における製品開発から試験・解析・販売・保守やアフターサービスまでのビジネスプロセスの各段階をトータルにサポートする「ストレート・スルー・プロセッシング」を実現することで「技術情報統合マネジメント企業」を目指しております。

また近年では、IoT、AI、ロボットビジネスをはじめとする新規事業・新規領域の開拓を図っております。特に、エンジニアリング事業におけるFA・ロボットシステムを中・長期的な戦略ビジネスとして位置づけ、業容拡大に注力しており、ロボットエンジニアリングビジネスの確立に向けた業務展開を進めております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高5,695百万円（前年同期比32.4%増）、営業利益740百万円（前年同期比30.1%増）、経常利益734百万円（前年同期比31.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益468百万円（前年同期比24.7%増）となりました。主に技術システム事業が、増収増益に大きく寄与しております。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。）

（ドキュメンテーション事業）

ドキュメンテーション事業におきましては、新規開拓や既存顧客への提案活動等、受注拡大に向けた活動を行ってまいりましたが、取引先での開発機種の減少等の影響もあり、売上高は1,546百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は454百万円（前年同期比1.0%減）の増収減益に留まりました。

（エンジニアリング事業）

エンジニアリング事業におきましては、ロボトレーナ等の実習装置の拡販、民間向けFA・ロボットシステムの新規開拓に取り組んでまいりました結果、売上高935百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益192百万円（前年同期比8.3%増）と、減収増益となりました。

（技術システム事業）

技術システム事業におきましては、新規顧客の開拓による事業拡大、MBD・PLMソリューションの推進、システム開発を中心とした受注確保に取り組んでまいりました。また利益についても既存ビジネスの付加価値向上への取り組みが奏功し、売上高3,260百万円（前年同期比73.6%増）、営業利益は446百万円（前年同期比78.2%増）の大幅な増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は8,231百万円であり、前連結会計年度末より369百万円増加しております。内訳としては、流動資産が69百万円増加の4,926百万円、固定資産が300百万円増加の3,305百万円であります。

流動資産の変動の主な要因は、現金及び預金で386百万円、仕掛品で46百万円、その他で41百万円の増加があった一方、受取手形及び売掛金で264百万円、電子記録債権で137百万円の減少があったこと等であります。

また、固定資産の変動については、有形固定資産で252百万円、投資その他の資産で65百万円の増加があった一方、のれんの償却により「のれん」が17百万円減少したこと等であります。有形固定資産増加の主な要因は、新工場建設に係る建設仮勘定の増加であります。

(負債)

負債は前連結会計年度末より50百万円増加し、2,309百万円となりました。内訳は、流動負債が54百万円増加の2,302百万円、固定負債が3百万円減少の6百万円であります。流動負債の変動の主な要因は未払法人税等で69百万円、その他で256百万円（主に未払費用）増加した一方、支払手形及び買掛金が54百万円、短期借入金が170百万円、未払金が14百万円、未払消費税等が36百万円減少したこと等であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、5,922百万円であり、前連結会計年度末より318百万円増加しております。要因としては、主に利益剰余金が318百万円増加したためであり、これは親会社株主に帰属する四半期純利益468百万円を計上したことと配当金を150百万円支払ったことによるものであります。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動で1,017百万円を獲得し、投資活動では312百万円、財務活動では319百万円の資金を要したことにより、前連結会計年度末より384百万円増加の2,068百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間においては、営業活動で1,017百万円（前年同期比94百万円増）の資金を獲得しました。これは、税金等調整前四半期純利益732百万円（前年同期比171百万円増）、減価償却費65百万円（前年同期比3百万円減）、売上債権の減少401百万円（前年同期比99百万円増）、その他流動負債の増加219百万円（前年同期比66百万円増）等の資金の増加があった一方、たな卸資産の増加43百万円（前年同期比18百万円減）、仕入債務の減少額53百万円（前年同期比32百万円増）法人税等の支払額274百万円（前年同期比87百万円増）等の資金の減少があったことが主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動では有形固定資産の取得による支出298百万円（前年同期比244百万円減）、無形固定資産の取得による支出10百万円（前年同期比9百万円減）があったこと等により、312百万円（前年同期比152百万円減）の資金を要しました。なお、有形固定資産取得の主なものは、新工場建設に係る建設仮勘定であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動としては、短期借入金の減少170百万円（前年同期比130百万円増）、配当金の支払額149百万円（前年同期比13百万円増）があったこと等により、319百万円（前年同期比143百万円増）の資金を要しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年2月13日の「平成30年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 追加情報

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,732,301	2,118,617
受取手形及び売掛金	2,358,972	2,094,815
電子記録債権	384,091	246,825
商品及び製品	53,902	49,198
仕掛品	171,064	217,458
原材料及び貯蔵品	14,288	15,423
その他	147,155	188,820
貸倒引当金	△4,861	△4,783
流動資産合計	4,856,915	4,926,377
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,071,772	1,047,242
土地	1,059,212	1,059,212
その他(純額)	153,588	430,278
有形固定資産合計	2,284,573	2,536,733
無形固定資産		
のれん	232,439	214,670
その他	120,037	120,340
無形固定資産合計	352,476	335,010
投資その他の資産		
その他	380,272	446,058
貸倒引当金	△12,400	△12,400
投資その他の資産合計	367,872	433,658
固定資産合計	3,004,923	3,305,401
資産合計	7,861,838	8,231,779
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	328,865	274,715
短期借入金	670,000	500,000
未払金	380,672	365,920
未払法人税等	256,876	326,064
未払消費税等	134,872	98,672
賞与引当金	151,190	164,670
受注損失引当金	5,482	4,047
製品保証引当金	40,961	32,716
その他	279,038	535,545
流動負債合計	2,247,961	2,302,354
固定負債		
退職給付に係る負債	4,575	4,383
資産除去債務	2,320	2,333
その他	3,257	—
固定負債合計	10,152	6,717
負債合計	2,258,114	2,309,071

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,327	940,327
資本剰余金	1,171,768	1,171,768
利益剰余金	3,518,059	3,836,137
自己株式	△25,575	△25,575
株主資本合計	5,604,579	5,922,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,210	△2,447
為替換算調整勘定	2,355	2,496
その他の包括利益累計額合計	△855	49
純資産合計	5,603,724	5,922,707
負債純資産合計	7,861,838	8,231,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	4,300,793	5,695,430
売上原価	2,922,555	4,094,056
売上総利益	1,378,237	1,601,374
販売費及び一般管理費	809,456	861,308
営業利益	568,781	740,065
営業外収益		
受取利息	12	4
受取配当金	742	798
確定拠出年金返還金	716	647
売電収入	793	783
その他営業外収益	2,990	2,664
営業外収益合計	5,256	4,898
営業外費用		
支払利息	1,504	2,096
支払融資手数料	3,855	3,862
為替差損	3,773	1,502
減価償却費	1,489	1,318
その他営業外費用	2,691	1,737
営業外費用合計	13,314	10,517
経常利益	560,723	734,446
特別利益		
固定資産売却益	904	70
特別利益合計	904	70
特別損失		
固定資産除却損	111	1,397
減損損失	—	600
特別損失合計	111	1,998
税金等調整前四半期純利益	561,516	732,518
法人税、住民税及び事業税	253,630	329,315
法人税等調整額	△67,505	△64,920
法人税等合計	186,125	264,394
四半期純利益	375,390	468,124
親会社株主に帰属する四半期純利益	375,390	468,124

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	375,390	468,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,175	763
為替換算調整勘定	2,801	141
その他の包括利益合計	△4,374	904
四半期包括利益	371,016	469,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	371,016	469,028
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	561,516	732,518
減価償却費	69,366	65,433
長期前払費用償却額	106	75
のれん償却額	22,113	17,769
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△500	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,956	13,479
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	230	△28
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	11,775	△1,429
受取利息及び受取配当金	△755	△803
支払利息	1,504	2,096
固定資産売却損益 (△は益)	△904	△70
固定資産除却損	111	1,397
売上債権の増減額 (△は増加)	301,613	401,296
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△61,226	△43,043
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△12,636	△30,148
仕入債務の増減額 (△は減少)	△21,500	△53,904
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	153,522	219,615
未払消費税等の増減額 (△は減少)	59,815	△31,372
その他	202	△1,508
小計	1,078,398	1,291,371
利息及び配当金の受取額	755	803
利息の支払額	△1,473	△2,023
法人税等の支払額	△186,661	△274,285
法人税等の還付額	32,353	1,903
営業活動によるキャッシュ・フロー	923,371	1,017,769
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△54,000	△56,000
定期預金の払戻による収入	54,000	54,000
有形固定資産の取得による支出	△543,279	△298,422
有形固定資産の売却による収入	85,560	600
無形固定資産の取得による支出	△20,030	△10,551
その他	12,347	△2,468
投資活動によるキャッシュ・フロー	△465,402	△312,842
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△40,000	△170,000
配当金の支払額	△136,168	△149,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	△176,168	△319,530
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,333	△1,081
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	280,467	384,315
現金及び現金同等物の期首残高	1,277,023	1,684,301
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,557,490	2,068,617

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,518,856	936,267	1,845,669	4,300,793	—	4,300,793
セグメント間の内部売上高又は振替高	325	272	32,505	33,103	(33,103)	—
計	1,519,181	936,539	1,878,175	4,333,896	(33,103)	4,300,793
セグメント利益	458,526	177,746	250,477	886,749	(317,968)	568,781

(注) 1. セグメント利益調整額△317,968千円には、セグメント間取引消去5,062千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△323,030千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,546,195	932,304	3,216,931	5,695,430	—	5,695,430
セグメント間の内部売上高又は振替高	469	3,178	43,726	47,374	(47,374)	—
計	1,546,664	935,483	3,260,657	5,742,805	(47,374)	5,695,430
セグメント利益	454,056	192,468	446,465	1,092,990	(352,924)	740,065

(注) 1. セグメント利益調整額△352,924千円には、セグメント間取引消去6,384千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△359,308千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。